

# 志木二中だより

平成30年度 9月号  
志木市立志木第二中学校

平成30年8月29日(水)  
志木市館1-3-1 TEL 048-473-2379



## この夏

校長 本庄 真

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。まだ残暑が厳しいですが、この夏を振り返ると「猛暑」という二文字が浮かんできます。7月から8月中旬までは連日猛暑日で、体温より高い気温が当たり前、最高気温が35度以下だと天気予報で言われると、「今日は少ししのぎやすい」と思ったりするほど、感覚が変になっていました。そんな中でも部活動では熱中症等に気をつけながら練習に励み、がんばっていました。大会等では、女子バドミントン部が昨年度に引き続き関東大会に出場しました。惜しくも全国大会出場はなりませんでしたが健闘しました。また、吹奏楽部が県大会において金賞をとり、9月に開催される西関東大会への出場を決めました。他にも、卓球部、剣道部が県大会に出場したり、水泳や卓球など個人種目で優秀な成績を収めたり、この夏も志木二中学生は大活躍でした。



もうひとつ、この夏印象に残ったことは高校野球です。夏の甲子園、今年が第100回の記念大会でした。大阪桐蔭高校が圧倒的な強さで二度目の春夏連覇を成し遂げましたが、決勝戦を戦った金足農業高校の大健闘も光りました。秋田県勢103年ぶりの決勝進出が話題になり、「100回目の大会で103年ぶり？」と疑問に思ったら、戦時中は開催できなかったとのこと。平和についても考えさせる良い機会をもらいました。地元の生徒だけの9人だけで戦う姿やミラクルを起こすチーム力に地元だけでなく全国のファンが魅了されました。私も名前が埼玉県の本庄市ではなく秋田県にある由利本荘市の本庄なので、以前から秋田県には親近感を持っていました。(縁はないようですが、2回訪問したことはあります) 県立本荘高校という学校があり、10年前には甲子園出場を果たしています。実は毎年、地区大会の段階でどの高校よりも本荘高校を応援しています。そんなこともあり、秋田県の公立高校の奮闘ぶりはうれしい出来事でした。



さて、中3生にとってこの夏はどんな夏だったでしょうか。暑さに負けず己に負けず、しっかりと計画通りに学習や生活ができたでしょうか。来春、「この暑い夏を乗り切ったから今がある」と言えるよう、これからも努力を継続してください。

保護者、地域の皆様、9月8日(土)に学校公開とふれあい講演会が、10月27日(土)に全校で合唱を披露する音楽祭が本校で行われます。ぜひご来校いただき生徒の様子をご覧になっていただきたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。